

開催日時 10 月 30 日 (土) 会場 阿須運動公園ホッケー場 天候 雨

【試合結果】

<男子>				
第1試合 9:30	新潟大学	2	$\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 2 & - 0 \end{pmatrix}$	0 京都大学
<男子>				
第2試合 11:00	神戸大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$	1 北海道大学
<女子>				
第3試合 12:30	山梨学院大学	7	$\begin{pmatrix} 3 & - 0 \\ 4 & - 0 \end{pmatrix}$	0 東京農業大学
<女子>				
第4試合 14:00	富士大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$	1 立命館大学

【試合の結果・詳細】

新潟大学 2 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 2 & -0 \end{pmatrix}$ 0 京都大学
 東北・北信越 関西

戦評	<p>試合開始前から強い雨で厳しい試合が予想されたこのゲーム。ロングパスも思うように繋がらず、両チームともなかなか得点に結びつかないまま前半終了。 しかし後半4分、新潟大学の12番沼田敏孝が右コーナーからセンタリングを打ち、11番金沢貴良がスウィープで押し込み先制点を挙げる。波に乗った新潟大学は、9番木村弘樹が右ロングからドリブルでサークル内に入り込む。そしてプッシュで出されたパスに11番金沢貴良が反応し、シュートを決め、2-0新潟大学の勝利で試合が終了した。</p>
----	---

神戸大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 1 北海道大学
 関西 北海道

戦評	<p>雨の中、前半は攻守の入れ替えが激しく、互いに均衡した状態が続いた。スティックが飛ぶ場面が見られた他、雨の影響からグラウンド状況が悪く、パスのミスやボールが繋がらないことが多く見られた。そんな中、前半27分に北海道大学のNo.7佐藤豊が自らボールを運びシュート。これが見事に決まり前半は1-0の北海道大学リードで終了する。 後半はそのまま北海道大学がペースを握ると思われたが、神戸大学の堅い守りがゴールを割らせない。再び一進一退の攻防が続いたが、神戸大学は最後まで攻めに転じることが出来ず、1-0で北海道大学が勝利した。</p>
----	---

山梨学院大学 7 $\begin{pmatrix} 3 & -0 \\ 4 & -0 \end{pmatrix}$ 0 東京農業大学
 関東 関東

戦評	<p>前半開始早々3分、山梨学院No.8加藤彰子のシュートから試合は始まった。12分にNo.7三橋亜記、33分にはNo.18伴田久美がシュート、アシストにはNo.1丁リナが入った。前半は3-0の山梨学院リードで終了した。 後半に入ってもその戦況は変わらない。4分に山梨学院No.8加藤彰子、アシストにNo.5永山加奈が、6分には再びNo.8加藤彰子、アシストはNo.12三浦かおり、その後14分に再び加藤彰子がゴールを決めた。更に28分No.13大場史織、アシストにNo.10緑川希望が追加点を入れた。東京農大は何度か攻めに転じたが、山梨学院の堅い守りに阻まれ得点はなかった。山梨学院は最後までペースを乱さず、7-0で勝利した。</p>
----	---

富士大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 1 立命館大学
 東北・北信越 関西

戦評	<p>前半から互いに速いパスを回し、一進一退の攻防を両チームは繰り広げた。しかし、その均衡を破ったのは前半16分、立命館大学のNo.4瀧上知佳のリバースシュートだった。このままペースを掴むかと思われたが、富士大学の粘り強い守りの前になかなか追加点が得られない。前半は1-0で立命館リードで終わる。 後半に入っても戦況は変わらず、均衡状態が続いた。しかし、その中で富士大学が次第に攻め始めた。雨の影響からか立命館大学にパスのミスが目立ち始め、その隙をつき正確にパスを繋いでいった。しかし立命館大学の攻めの姿勢は崩せず、1-0で立命館大学が勝利した。</p>
----	--